# 名古屋市多文化共生推進プラン

# 実施計画

概要版

平成25(2013)年2月

な古屋市

東定の背景と目的 (さくていのはいけ

なこやしたがかきょうせいしかい とつげん 名古屋市が総合的かつ 名古屋市では「多文化共生社会」の実現をめざして、名古屋市が総合的かつ たいけいてき たぶんかきょうせいしさく すいしん 体系的に多文化共生施策を推進していくための指針となる「名古屋市多文化共生推進プラン」(以下、「プラン」という。)を平成24(2012)年3月に策定しました。 プランに示した施策方針を具体的施策に反映し、各施策の進行管理及び評か おこな たぶんかきょうせい ちゃくじつ すいしん はか た ぶんかきょうせいすい 価を行い、多文化共生の着実な推進を図るために、「名古屋市多文化共生推進プラン実施計画」(以下、「実施計画」という。)を策定しました。

計画期間はいか

~いせい ねん ど へいせい ねん ど ねんかん 平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間

た ぶん かきょうせい しさく じょうきょう へんか ぱぁい ぁら も こ じ 多文化共生施策をとりまく状況の変化があった場合や、新たに盛り込むべき事 こうとう しょう ぱぁい じゅうなん たいおう 項等が生じた場合は、柔軟に対応します。

# た ぶん か きょうせい しゃ かい ※多文化共生社会とは…

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共にしあわせに生きていくことができる社会」と定義します。

基本目標きほんもくひょう

た ぶんか きょうせいしゃかい じつげん ち 多文化共生社会の実現に向けた3つのきずなづくり

言葉のきずな

暮らしのきずな

地域のきずな

施策の方針(しさくのほうしん)

言葉のきずな

く 暮らしのきずな <sub>せいかつしえん</sub> 生活支援

ち いき
地域のきずな
た ぶん かきょうせい
多文化共生の
ち いきしゃかい
地域社会づくり

にほんご こかりには、これない こんなん 日本語によるコミュニケーションが困難なことにより、 ひっよう じょうほう ぎょうせいさ こびす う 必要な情報や行政サービスを受けられないことがないよう、情報の多言語化や日本語の学習支援に努めます。また、 でいかいじ そな ひごろ がいこくじんしゅん にほんじん しゅん たす 災害時に備え、日頃から外国人市民と日本人市民が助ける たいけい みん たす かいこくじんしゅん にほんじん しゅん たす の で ころ がいこくじんしゅん にほんじん しゅん たす の がいこくじん しゅん たす がいこくじん しゅん たす がいこくじん しゅん たす がいこくじん しゅん にほんじん しゅん たす がいこくじん しゅん たす がいこくじん しゅん たす がいこくじん しゅん しゅん たす がいこくじん しゅん しゅん たり 大いせい の で ごろ かい、対処することができる体制づくりを目指します。

外国人市民が、安心・安全で快適な生活をすることがで 外国人市民が、安心・安全で快適な生活をすることができませいかつ うえ ひつよう きほん きいき せいかつ うえ ひつよう きほん きるように、地域において生活する上で必要となる基本 でき かんきょう ととの せいかつ しえん じゅうじつ つと 的な環境を整えるため、生活支援の充実に努めます。

がいこくじん し みん ちいきしゃかい 外国人市民が、その権利が保障されるとともに、地域社会 できない は は まいき せき ささ の構成員として、その役割・義務を果たし、地域を支える にな て がいこくじん し みん まいき と 担い手となることができるように、外国人市民が地域に溶 しゃかいさんかく かんきょう つと け込み、社会参画ができるための環境づくりに努めます。

しさくほうしん **施策方針 1** 

#### こみゅに ゖーしょんし<sup>えん</sup> **コミュニケーション支援**

1 – 1

# 地域における情報の多言語化

#### し さく ●施策のめざす姿

外国人市民に、必要な情報が伝わり、理解されるよう、多様な言語・手段によって たようほうていきょう 情報提供がなされています。また、日常生活について、外国人市民が身近に相談でき かんきょう ととの る環境が整っています。

## し さく ほうこう **●施策の方向**

基本施策 1

きほんしさく 4

基本施策 3

たょう げんご しゅだん ぎょうせい せいかつじょうほう ていきょう 多様な言語・手段による行政・生活情報の提供

がいこくじん しゅん まどぐち さー び す じゅうじっ 外国人市民のための窓口サービスの充実

NPO等や外国人市民との連携・協働

### し さく せい か もくひょう 施策の成果目標

| し ひょう<br>指 標  | げんじょうち ねんど<br>現状値(23年度) | もくひょうち ねんど 目標値(28年度) |
|---|-------------------------|----------------------|
| なごやし せいかつじょうほう にゅうしゅさき なごやし きかん 名古屋市の生活情報の入手先が「名古屋市の機関である」外国人 はみん わりあい 市民の割合※ | 57.6%*                  | 66.0%                |
| しせいがいだんす じっしかいすう<br>市政ガイダンスの実施回数  | 年2回                     | 年12回                 |

にゅうしゅさき なごやし ほーむペーじ なごやこくさいせんたー ほーむペーじ めーるまがじん なごやかれんだー ※入手先が名古屋市のホームページ、名古屋国際センター(NIC)のホームページ、メールマガジン、ナゴヤカレンダー、こうほう らじま かくくゃくしょ まどぐち しみん おお あっ こうきょうしせつ わりあい ごうけい 広報なごや、FMフジオ、各区グロ・シャー たまさき こうさい でまる 公共施設である割合の合計

### おも じぎょう **主な事業**

| じ ぎょう   | たんとう ぶきょく                |
|---|--------------------------|
| 事 業   | 担当部局                     |
| りんき た ぶん かきょうせいし さく う ぇ ぶ さ い と うんえい 多文化共生施策ウェブサイトの運営 | しちょうしつ<br>市長室            |
| が   | <sub>しちょうしつ</sub><br>市長室 |
| がた。 しせいがいだんす じっし                                      | <sub>しちょうしつ</sub>        |
| 市政ガイダンスの実施  | 市長室                      |
| にほんで つか じょうぼうていきょう                                    | <sub>しちょうしつ</sub>        |
| が規 「やさしい日本語」を使った情報提供                                  | 市長室                      |
| がくしゅう た げん ご そうだん じっ し                                | <sup>しちょうしつ</sup>        |
| <mark>加欠</mark> 多言語での相談の実施                            | 市長室                      |
| ぎょうせいじょうほう ほんやく ごがくぼらんてぃぁはけん                          | しちょうしつ かくきょくくしつ          |
| 行政情報の翻訳、語学ボランティア派遣                                    | 市長室、各局区室                 |
| がくじゅう く ゃくしょまどぐち つうゃく はい ち                            | <sup>なかく みなとく</sup>      |
| 拡充 区役所窓口への通訳の配置                                       | 中区、港区                    |

<sup>\*</sup>平成22年度 名古屋市外国人市民アンケート調査より(以下同じ)



#### こみゅに ゖーしょんし ネル **コミュニケーション支援**

1-2

日本語及び日本社会に関する学習支援

#### ●施策のめざす姿

日本語や日本社会について勉強したいと思う外国人市民のニーズに合った学習機会がでいます。 そして、外国人市民の日本語能力が高まり、日本社会に関する知識が深まっています。

#### ●施策の方向

きほんしさく

日本語及び日本社会に関する学習機会の充実

基本施策 2

にほんごがくしゅうしえん しく じゅうじっ 日本語学習支援の仕組みの充実

### し さく せい か もくひょう 施策の成果目標

| し ひょう<br>指 標  | げんじょうち ねんど<br>現状値(23年度) | もくひょうち ねんど 目標値(28年度) |
|---|-------------------------|----------------------|
| にほんごのうりょく にちじょうかいわ いじょう がいこくじん し みん わりあい 日本語能力が「日常会話ができる」以上の外国人市民の割合※ | 66.2%*                  | 79.0%                |
| しょき に ほん ごしゅうちゅうきょうしつ きょうしつすう<br>初期日本語集中教室の教室数                        | 1 教室                    | 3 教室                 |

にほん このうりょく あ じゅう こま にちじょうかいや わりあい ごうけい ※日本語能力が不自由ない、ほとんど困らない、日常会話ができるとする割合の合計

## おも じぎょう **主な事業**

| じ ぎょう<br>事 業  | たんとう ぶきょく<br>担当部局        |
|---|--------------------------|
| にほんできょうしつ にほんで かい うんえい<br>日本語教室「NIC日本語の会」の運営                                    | しちょうしつ 市長室               |
| がくじゅう で に ほん ごきょうしつ かいさい 加元 「子ども日本語教室」の開催                                       | しちょうしつ<br>市長室            |
| に ほん ごきょういくそうだん せ ん た ー うんえい<br>「日本語教育相談センター」の運営                                | きょういく い いんかい 教育委員会       |
| がくしょう しょき にほんごしゅうちゅうきょうしつ にほん ごつうきゅうし どうきょうしつ うんえい 初加 「初期日本語集中教室」「日本語通級指導教室」の運営 | きょういく い いんかい 教育委員会       |
| がいこくじん じ どう せい と さ ぽ ー た ー ようせいけんしゅう<br>加介 外国人児童・生徒サポーター養成研修                    | しちょうしつ<br>市長室            |
| にほんごぼらんていまけんしゅう しんぽじうむ かいさい<br>日本語ボランティア研修・シンポジウムの開催                            | <sup>しちょうしつ</sup><br>市長室 |

しさくほうしん **施策方針 1** 

# 

1-3

**防** 災

#### ●施策のめざす姿

外国人市民が防災に関する知識・情報を十分取得できており、自分で身を守ることが できています。また、災害時の通訳・翻訳ボランティアなどが育成・ネットワーク化されており、災害時の外国人市民の支援が滞りなくできています。

## し さく ほうこう **●施策の方向**

きほんしさく 基本施策

災害への備えと啓発

基本施策 2

び害時の通訳・各種ボランティアの育成・支援、連携・協働

基本施策 3

1

せいがい じ がいこくじん し みん じょうほうでんたつしゅだん た げんご か た よう めで い あ れんけい 災害時の外国人市民への情報伝達手段の多言語化、多様なメディアとの連携

#### しさく せいかもくひょう

# ● 施策の成果目標 L ひょう おんど まうち ねんど まくひょうち ねんど 目標値 (28 年度)

| 19 15   | <b>坑</b> 人他(23 年度) | 日信恒(20年度)  |
|---|--------------------|------------|
| 「地震や台風への備えを特にしていない」外国人市民の割合                     | 36.4%*             | 27.0%      |
| ぼうさいけんしゅう さんか ほらんていま にんずう<br>防災研修に参加したボランティアの人数 | <b>46人</b>         | <b>64人</b> |

### まも じぎょう主な事業

| じ ぎょう  | たんとう ぶきょく                                 |
|--|---|
| 事 業  | 担当部局                                      |
| がいこくじんぼうさいけいはつ じぎょう                                  | しちょうしつ しょうぼうきょく                           |
| 外国人防災啓発事業  | 市長室、消防局                                   |
| がいこくじん し みん しょうさいくんれんさん か そくしん じぎょう 外国人市民の防災訓練参加促進事業 | いちょういつ みなとく<br>市長室、港区、<br>いようぼうきょく<br>消防局 |
| いた。 ぽうさい の ー と がいこく ご ぽん さくせい 所災ノート」の外国語版の作成         | きょういく い いんかい<br>教育委員会                     |
| がいこくこうかん れんけい<br>外国公館との連携                            | 市長室                                       |
| がくぼらんていませいど かんりうんえい                                  | しちょうしつ                                    |
| がた 災害語学ボランティア制度の管理運営                                 | 市長室                                       |
| た よう しゅだん さいがいじょうほう ていきょう                            | しちょうしつ                                    |
| 多様な手段による災害情報の提供                                      | 市長室                                       |

しさくほうしん 施策方針 2

生活支援

2-1

きょ **居** 住

#### し さく ●施策のめざす姿

### し さく ほうこう **施策の方向**

基本施策 1

みんかんちんたいじゅうたく えんかつ にゅうきょ し えん 民間賃貸住宅への円滑な入居支援

基本施策 2

きょうどうせいかつ かん じょうほうていきょう 共同生活に関する情報提供

#### し さく せい か もくひょう

#### ●施策の成果目標

| し ひょう<br>指 標  | げんじょうち ねんど<br>現状値(23年度) | もくひょうち ねんど <b>目標値</b> (28年度) |
|---|-------------------------|------------------------------|
| 「家を見つけるときに困ったことは特にない」外国人市民の割合                                 | 53.2% *                 | 65.0%                        |
| げんざい す じゅうたく まんぞく がいこくじん し みん わりあい 「現在住んでいる住宅に満足している」外国人市民の割合 | 69.1%※                  | 71.0%                        |

げんじょうち がいこくじん し みん すう ち にほんじん し みん ふく すう ち ※現状値は外国人市民のみの数値がないため、日本人市民も含んだ数値

# まも じぎょう主な事業

| じ ぎょう<br>事 業  | たんとう ぶきょく<br>担当部局               |
|---|---------------------------------|
| みんかんちんたいじゅうたくとう じょうほうていきょう<br>民間賃貸住宅等の情報提供          | じゅうたく と しきょく<br>住宅都市局           |
| しえいじゅうたくかんり じ む しょとう じょうぼうていきょう<br>市営住宅管理事務所等での情報提供 | <sub>じゅうたくと しきょく</sub><br>住宅都市局 |